2010 年チリ地震・津波災害　JST-JICA 地球規模課題調査団
調査報告会のご案内

科学技術振興機構(JST)と国際協力事業団(JICA)が協力して実施している「地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)」では，防災分野における課題の 1 つとして，「ペルーにおける地震・津波減災技術の向上に関する研究（研究代表者：山崎文雄千葉大学教授）」を 2010 年から 5 カ年の予定で実施しています(http://ares.tu.chiba-u.jp/peru/).

本課題の対象地域はペルーでありますが，隣国のチリとは，テクトニクス環境や自然・社会環境が近似しており，チリの巨大地震を研究することはペルーにも適用できる部分が多いとともに，中南米諸国への波及効果も大きいと考え，ペルーおよびチリの研究者と合同で，3 班に分けた被害調査を実施しました．本報告会では，この調査で得られた地震・津波防災対策に関する様々な知見や教訓を紹介いたします．専門家および一般の方々の積極的な参加をお待ちしています.

日時：2010 年 5 月 20 日（木）15:00－17:50

場所：キャンパスイノベーションセンター　1F 国際会議室
東京都港区芝浦 3-3-6　（JR 田町駅東口 1 分）
地図　http://www.isl.or.jp/campusinnovation.html

15:00-15:10	開会の挨拶	鈴木良典（文部科学省地震・防災研究課長）
15:10-15:20	地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)の紹介	長谷川景子（JST）
15:20-15:50	被害調査の概要と衛星画像による広域被害把握	山崎文雄（千葉大学）
15:50-16:20	地震と地震動の特徴	ネルソン・プリード（防災科学技術研究所）
16:20-16:30	休憩	
16:30-17:00	津波シミュレーションと津波被害の特徴	越村俊一（東北大学）
17:00-17:30	建築物の被害と特徴	斉藤大樹（建築研究所）
17:30-17:50	質疑･討論	

司会：　庄司学（筑波大学），松岡昌志（産総研）

参加費：無料

問合わせ先：　丸山喜久　043-290-3555 ymaruyam@tu.chiba-u.ac.jp